

消防局 令和3年度 局運営方針（案）

1. 主な現状と課題

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、本市においても多くの陽性患者が確認されており、消防局では、救急活動等における感染防止対策や保健所などの関係部局との連携体制の確立を図りました。また、国の地方創生臨時交付金や補助金を活用し、マスク等の感染対策用資器材や陽性が疑われる傷病者搬送用資器材の整備を図り、市民の安全に直結する消防・救急体制を維持してきたところです。

近年は毎年のように大規模な風水害が発生しており、令和2年7月豪雨では九州地方を中心に大きな被害をもたらしました。本市においても、令和元年台風第19号により、豪雨、暴風、浸水等の被害が多方面にわたり発生し、消防局としても自然災害の大規模化に備えていかなければなりません。

さらに、超高齢社会の到来により、救急出場件数は増加傾向にあるほか、住宅火災発生時における高齢者被害についても、増加が懸念されています。近年は、建築物の高層化や複合化に伴い、災害時における避難や消防活動上の課題が懸念されるなど、予防行政の重要性がこれまで以上に高まっています。

令和3年7月には、市内の大規模施設が競技会場となり、東京2020大会が開催されることから、市民及び来訪者の安全・安心を確保するため、的確な警戒体制の整備を図る必要があります。

【新型コロナウイルス感染症に備えた資器材の整備】



【令和元年台風第19号における消防局の活動状況（さいたま市内）】



(1) 複雑多様化する災害への対応

令和3年7月、東京2020大会の開催に伴い、本市では「さいたまスーパーアリーナ」と「埼玉スタジアム2002」が競技会場となることから、会場周辺のみならず、市内には訪日外国人を含む多数の来訪者が見込まれています。

消防局では、市民及び来訪者等の安全・安心を確保するため、現在の消防サービスを低下させることなく、予測される災害の発生防止及び災害発生時における被害の軽減を図る万全な消防体制を構築する必要があります。

あらゆる災害に的確に対応できるよう、先進技術を活用した資機材の軽量化・高度化を推進するとともに、消防職員の知識や技術を高めるなど、より一層、消防活動能力の向上を図る必要があります。また、職員一人ひとりが消防の任務を自覚し、法令遵守と服務規律の確保を徹底し、市民の信頼に応える必要があります。

【バスケットボール会場】
さいたまスーパーアリーナ



写真提供：埼玉県

【サッカー会場】
埼玉スタジアム2002



写真提供：(公社)さいたま観光国際協会

【埼玉県・さいたま市国民保護実動訓練（埼玉スタジアム2002）】



(2) 発生が危惧される大規模災害への対応

令和元年10月には、令和元年台風第19号の影響により本市初の大雨特別警報が発表され、豪雨、暴風、浸水等により多方面にわたる被害が発生しました。この状況を踏まえ、消防局では救命ボート等の整備及び風水害消防計画の見直しを図り、消防団との連携による人命救助を最優先とした消防力の運用強化に取り組んでいるところです。

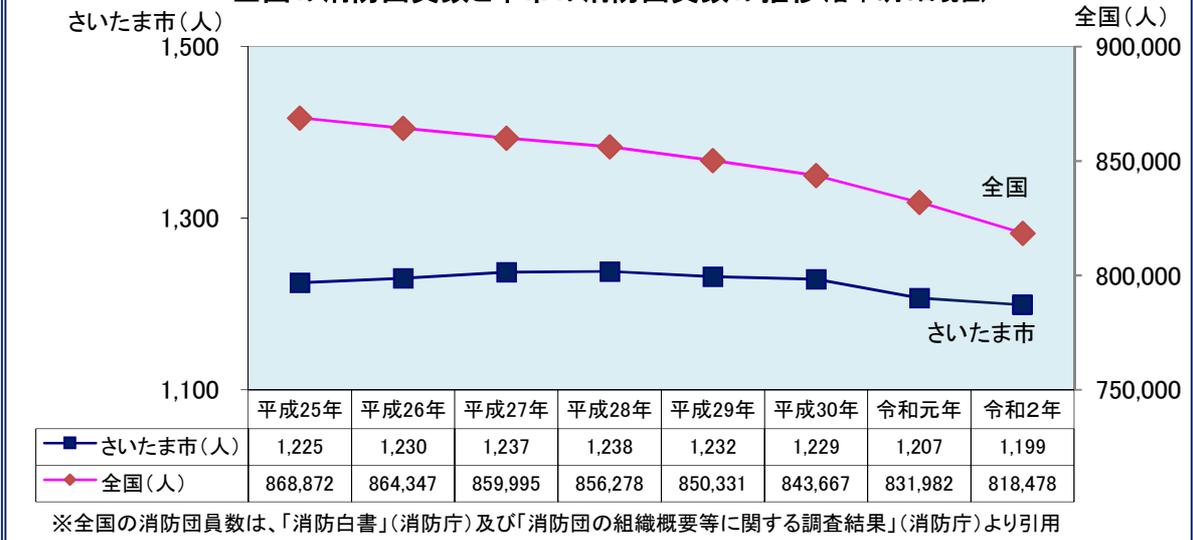
また、風水害のみならず、首都直下地震や南海トラフ地震等の発生も懸念されており、地域防災計画ではさいたま市直下地震を最大震度6強と想定していることから、的確な消防力の運用により火災の延焼拡大を阻止し、人命救助を最優先とした警防体制の強化を図る必要があります。

大規模災害への対応が急務となっている中、本市においても大きな自然災害が起こり得ることを強く意識するとともに、地域防災体制の中核的な役割を果たす消防団の充実強化や、将来の地域における防火防災の担い手となる少年消防団の育成を図る必要があります。

【さいたま市直下地震による本市の主な被害想定一覧】

項目	予測内容	さいたま市直下地震
建物被害	全半壊棟数 [棟]	約 72,000
出火延焼被害	炎上出火件数 [件]	約 100
	焼失棟数 [棟]	約 44,900
人的被害	死者 [人]	約 2,040
	負傷者数 [人]	約 8,150
上水道被害	断水人口 (1日後)	約 265,000
下水道被害	機能支障人口 (1日後)	約 57,300
生活支障等	避難所生活者 直後・1日後 [人]	約 123,000
	帰宅困難者 (平日12時) [人]	約 116,000 ~ 141,000

全国の消防団員数と本市の消防団員数の推移(各年4月1日現在)



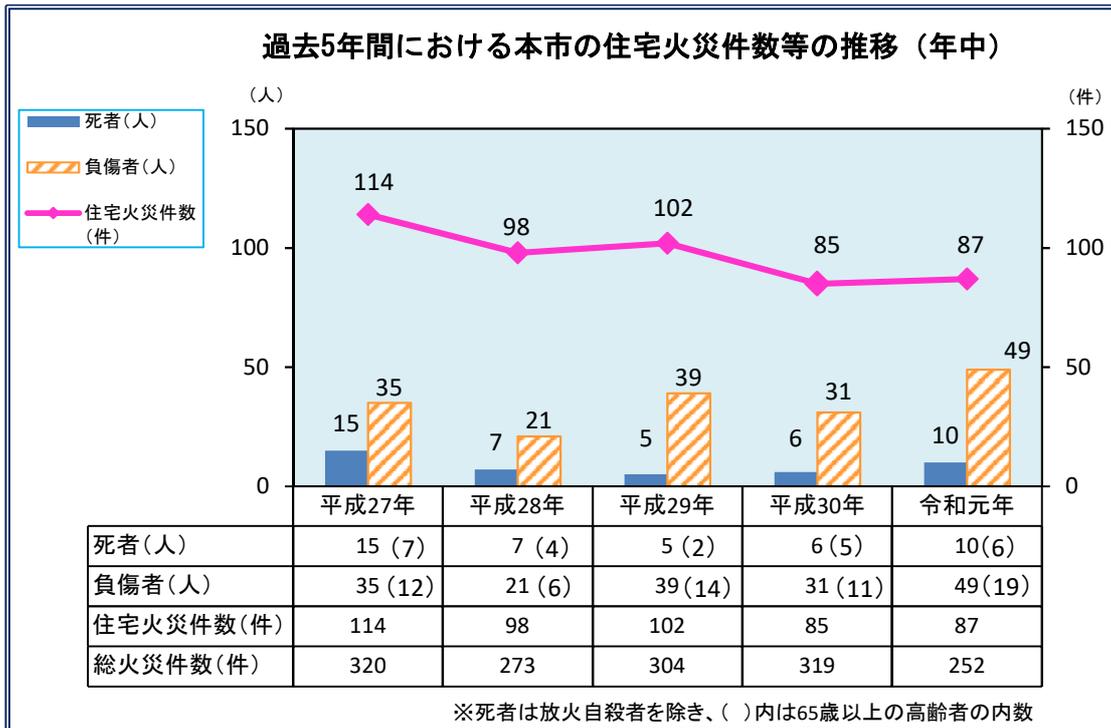
(3) 火災による被害の軽減

超高齢社会の到来により、住宅火災における高齢者の逃げ遅れ被害が懸念されることから、被害の軽減につなげる火災予防対策を推進する必要があります。

その中でも、住宅用火災警報器は、設置義務化から10年以上が経過しており、電池切れや本体の劣化により火災を感知できなくなるおそれがあるため、機器の交換等を市民に周知していく必要があります。

また、市民の防火防災意識の高揚を図るために、防火訪問による市民への直接的な防火対策指導や、さいたま市防災展示ホールを活用した防火防災学習等の機会を提供していく必要があります。

さらに、東京2020大会における競技の本市開催に伴い、多数の来訪者が見込まれることから、大会関連施設等の防火管理体制や消防用設備等が関係法令に適合するよう、事業所等に指導を行い、火災等の発生防止及び被害の軽減を図る必要があります。



【さいたま市防災センター】
防災展示ホール（VR体験）



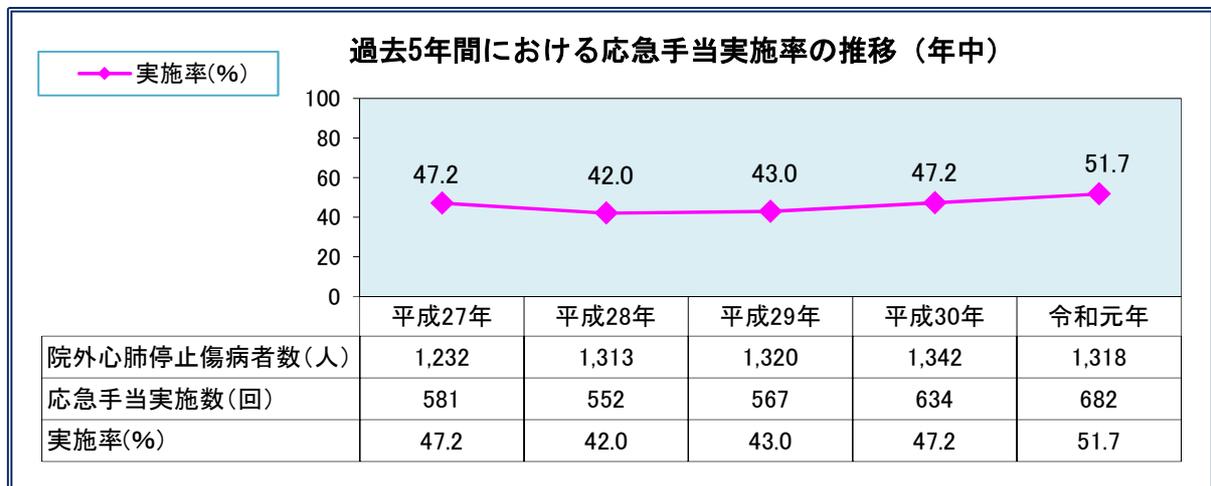
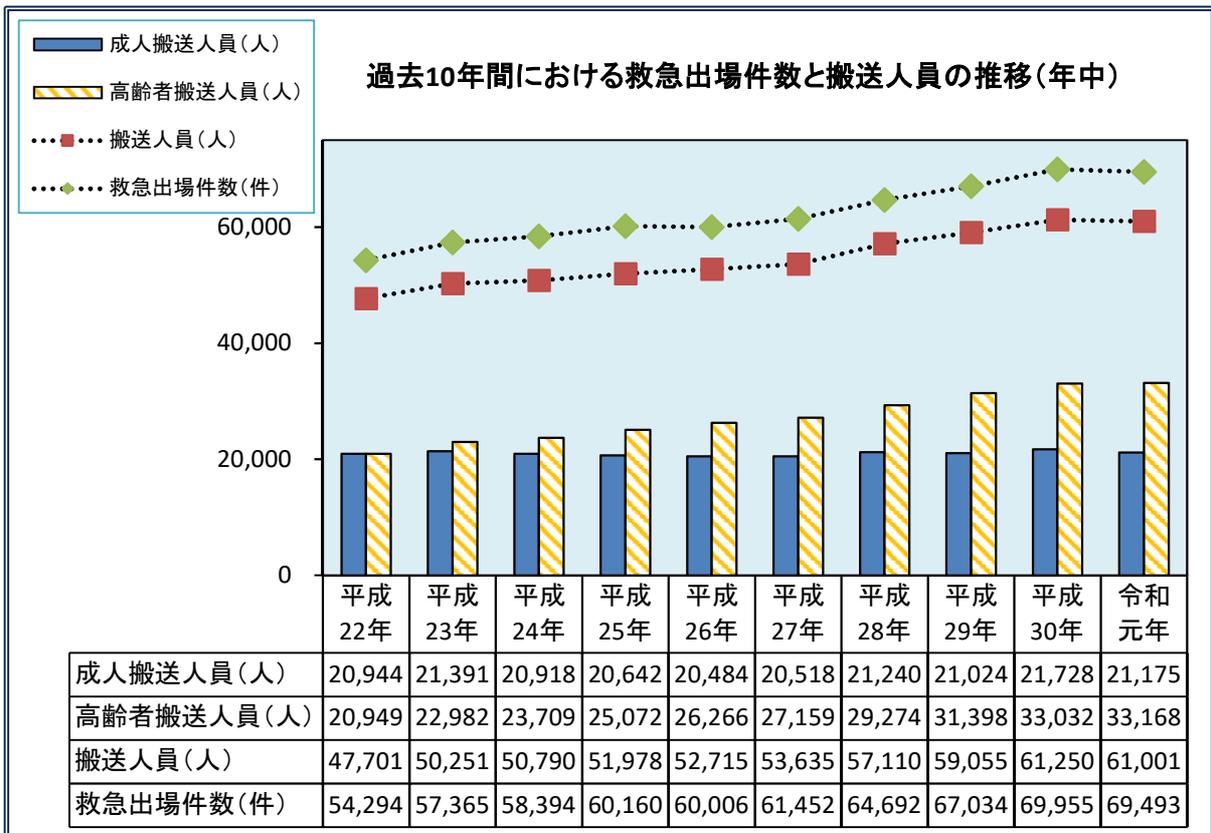
【事業所等への立入検査】



(4) 救急需要増加への対応と応急手当の普及啓発

令和元年中の救急出場件数は7万件に迫り、依然として増加傾向にあります。年齢区分別搬送状況を見ると、平成22年から10年連続で高齢者層（65歳以上）が成人層（18歳～64歳）を上回っている状況です。今後、更なる高齢化により救急出場件数の増加が見込まれることから、救急需要対策に取り組む必要があります。

また、救急現場に居合わせた人によって行われる応急手当は、救命効果を高めるために重要であり、更なる応急手当の普及啓発が必要となります。



2. 基本方針・区分別主要事業

132万市民の生命、身体及び財産を大規模・複雑多様化する各種災害から保護するため、消防力を計画的に整備し、消防職員等への教育や訓練の充実により、消防活動能力の向上を図ります。

また、市民・事業者の防火防災意識の高揚を図り、火災の予防や災害による被害の軽減を図ります。

さらに、救急需要対策に取り組むとともに、救命効果を高めるために、市民の応急手当の知識と技術の習得を促進します。

(1) 大規模・複雑多様化する各種災害に適切に対応するため、消防力等の充実強化を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
1	総振	消防力等の体制強化 〔消防総務課、消防企画課、消防施設課、予防課、警防課、救急課、指令課〕	915,819	1,660,025	大規模化、複雑多様化する災害に適切に対応するため、さいたま市消防力整備計画に基づき、中央消防署の移転に係る建設工事、(仮称)城南地区出張所の整備に係る既存建物解体工事及び中央消防署の解体工事に係る設計業務を実施	512
			(321,953)	(486,825)		513
						515
						517
						521
2	拡大	職員研修事業 〔消防職員課〕	47,700	44,135	職員の職務遂行上必要な知識及び技術の向上につながる研修を実施	514
			(47,700)	(44,135)		
3	拡大	既存防火水そうの長寿命化 〔消防施設課〕	68,158	26,809	老朽化した防火水そうの長寿命化に伴う設計業務及び工事を実施	520
			(7,058)	(2,809)		
4	拡大	車両整備事業 〔警防課〕	1,094,803	701,407	消防車両の更新整備	521
			(47,914)	(32,230)		
5		東京2020大会消防特別警戒実施事業 〔消防企画課、消防職員課、警防課、救急課、指令課〕	9,676	13,142	市民及び来訪者等の安全・安心を確保するため、大会開催期間中の市内2競技会場を含む、市全域における消防特別警戒を実施	513
			(9,676)	(13,142)		514
						517
						518
						521

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(2) 消防部隊の教育訓練の実施及び資機材の整備を実施するとともに、地域防災力の中核である消防団の充実強化を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
6		警防業務推進事業 〔警防課〕	66,831 (64,023)	101,599 (60,101)	消防部隊の教育訓練の実施及び資機材の整備	517
7	拡大	署活動用無線機整備事業 〔指令課〕	6,996 (6,996)	4,908 (4,908)	活動現場での指揮命令の伝達や、隊員間での情報共有に必要不可欠な署活動用無線機の更新	518
8	総振	消防団の充実強化 〔消防団活躍推進室、 消防施設課〕	267,158 (146,858)	399,274 (165,274)	地域防災の中核的存在である消防団の充実強化を図るため、消防団員確保の広報や消防分団車庫及び各種装備等の整備を実施	519 520

(3) 火災を予防し、火災による被害を軽減するため、火災予防対策の推進を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
9	拡大 総振	火災予防対策の推進 〔予防課、査察指導 課〕	2,645 (2,516)	2,277 (2,277)	高齢者家庭防火訪問の実施及び各種広報媒体を活用した火災予防普及啓発の実施並びに事業者向け講習会の開催	515
10	拡大 総振	消防防災学習施設の充 実 〔予防課〕	5,320 (5,320)	4,908 (4,908)	災害等の疑似体験を通じて市民の防火防災意識の向上を図るため、消防防災学習施設の管理及び運営を実施	515

(4) 応急手当の普及啓発と円滑な救急活動の推進を図ります。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
11	総振	応急手当の普及啓発 〔救急課〕	4,516 (4,466)	5,860 (5,810)	市民に対して応急手当講習の受講を促進するとともに、応急手当の市民指導者の育成を実施	518
12	総振	円滑な救急活動の推進 〔救急課〕	1,306 (1,306)	1,672 (1,672)	適切な医療機関へ速やかに搬送を行うため、緊急時医療情報パス・緊急時安心キットの普及に向けた取組	517

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容	コスト削減額
消防総務課	消防業務推進事業における手数料の見直し	広報用着ぐるみのクリーニング実施回数を、過去の使用状況を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 13
消防団活躍推進室	消防団啓発ポスター作成の廃止	国から配布される全国共通の消防団啓発ポスターを活用することで、市独自の消防団啓発ポスターの作成を廃止する。	△ 127
消防企画課	消防署運営事業における修繕料の見直し	業務用洗濯・乾燥機の導入により、故障件数の減少が見込まれることから、予算額を縮小する。	△ 30
消防職員課	消防職員の研修派遣の廃止	足場の組立等に係る局外研修について、研修派遣により職員の育成が進み、所属内研修が十分行えることから、派遣を廃止する。	△ 56
消防施設課	消防施設等維持管理事業における光熱水費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 8,161
予防課	少年消防団研修の見直し	新しい生活様式を踏まえた研修内容の見直しにより、予算額を縮小する。	△ 172
査察指導課	予防規制等推進事業における印刷製本費の見直し	過去の実績及び印刷物の在庫状況を勘案し、予算額を縮小する。	△ 31
警防課	講習参加における受講料・旅費の見直し	「マススペクトルの読み方入門講習会」及び「FTIR分光分析の基礎と応用講習」については、受講職員による受託研修にて、知識の伝承が可能となったため、予算計上を廃止する。	△ 114
救急課	救急業務推進事業における印刷製本費の見直し	救急隊が行う転院搬送時に使用する「転院搬送引継書」について、これまでの用紙配布していたものをホームページからのダウンロード方法に切替えるため、予算計上を廃止する。	△ 52
指令課	通信機器に関する消耗品費の見直し	過去の実績を踏まえ、通信機器消耗品の購入数を見直し、予算額を縮小する。	△ 87

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防業務推進事業		予算額	18,644
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常設消防費	予算書P. 175	- 一般財源 18,644
<事業の目的・内容> 中央消防署の移転に伴い、落成式を行います。 消防局事務の執行、管理運営及び消防協力体制の充実強化を図ります。 消防音楽隊による演奏活動を通じて消防行政全般について広報を行い、市民の防火防災意識の高揚を図ります。		前年度予算額 19,091 増減 △ 447	
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化	1,531	[参考]	 <p>消防音楽隊の活動</p>
中央消防署の移転に伴い、落成式を行います。 [総振：10-1-3-01]			
2 消防業務の推進	8,208		
消防局の広報事務、表彰事務、文書事務、郵便料の執行等、消防局の管理運営を行います。 また、消防協力体制の充実強化を図ります。			
3 消防音楽隊に関する事務	8,905		
演奏活動を通じて消防行政全般について広報を行うため、消防音楽隊の運営を行い、市民の防火防災意識の高揚を図ります。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防局運営事業		予算額	110,482
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 175	- 一般財源 110,482
<事業の目的・内容> 消防局及び消防署所の執務環境を維持するための複写機及び寝具の借上げ、消防活動に必要な防火服を含む消防活動用被服等の調達を行います。		前年度予算額 118,316 増減 △ 7,834	
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化	208		
中央消防署の移転に伴い、執務環境を整備するために必要な消耗品の調達を行います。 [総振：10-1-3-01]			
2 執務環境の維持管理	15,118		
消防局及び消防署所の執務環境の維持に必要な複写機及び寝具の借上げや、共通備品の払出し等を行います。			
3 消防活動に要する被服等の調達	95,156		
消防活動を安全かつ円滑に遂行するため必要な防火服を含む消防活動用被服の給貸与等を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防署運営事業		予算額	23,890
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	[財源内訳]	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	23,890
<事業の目的・内容> 消防署における、消防事務の執行及び執務環境の維持に必要な物品の調達等を行います。			
		前年度予算額	27,251
		増減	△ 3,361
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化		17,022	
中央消防署の移転に伴い、執務環境を整備するために必要な備品の調達を行います。			
[総振：10-1-3-01]			
2 消防署所に係る物品等の調達		6,868	
消防署所における執務環境を維持するため、必要な消耗品及び庁用備品の調達等を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防企画管理事業		予算額	2,086
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課	[財源内訳]	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	2,086
<事業の目的・内容> 東京2020大会の本市における競技開催に伴う「大会期間中の市民及び来訪者の安全・安心の確保」及び「大会運営の成功への寄与」に向けた各種対策を図ります。 また、消防業務に起因する損害について対応する保険の事務を行います。			
		前年度予算額	2,355
		増減	△ 269
<主な事業>			
1 東京2020大会消防特別警戒実施事業		261	
東京2020大会の本市開催に伴い、大会組織委員会及び全国消防長会等の関係機関が主催する会議に参加します。			
2 損害賠償事務		1,809	
消防法に定められている消防、救助、救急活動等に起因する損害賠償保険に加入し、関連事務を行います。			
3 外部機関会議		16	
所管事業に関する外部機関主催の会議に参加します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員研修事業 (消防職員課)		予算額	47,700
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 175	- 一般財源 47,700
<事業の目的・内容> 職員が、職務の遂行上必要な知識、技術等を修得し、市民ニーズに応えられる職員の育成を図ることを目的として消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。		前年度予算額	44,135
		増減	3,565
<主な事業> 1 職員研修事業 47,700 職員が、職務の遂行上必要な知識、技術等を修得するため、各種研修を実施します。 また、職場における安全運転を確保するため、安全運転管理者を選任し、安全運転の徹底を図ります。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 職員管理厚生事業		予算額	12,975
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 175	24款 諸収入 30
<事業の目的・内容> 職員の安全の確保と健康の保持及び増進を図り、快適な職場環境を整備することを目的に、職員の労働安全衛生と健康管理についての事業を実施します。		- 一般財源	12,945
		前年度予算額	13,076
		増減	△ 101
<主な事業> 1 東京2020大会消防特別警戒実施事業 38 東京2020大会の本市開催に伴い、消防特別警戒の実施に必要な救急医薬品等の整備を行います。			
2 衛生管理事務 9,287 労働安全衛生法に基づき、消防局及び各消防署に産業医を選任し、職員の健康管理及び職場環境の改善を図ります。			
3 予防接種の実施その他 3,650 消防力を低下させないために、災害現場で活動する職員に対し予防接種を実施します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 火災予防推進事業		予算額	24,506
局/部/課	消防局/予防部/予防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 175	- 一般財源 24,506
<p><事業の目的・内容></p> <p>住宅防火対策をはじめたとして各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のため調査技術の向上を図るとともに、火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。</p> <p>また、災害時の疑似体験を通じて市民の防火防災意識の高揚を図るため、消防防災学習施設の管理及び運営を行います。</p>		前年度予算額	24,059
		増減	447
<p><主な事業></p> <p>1 消防力等の体制強化 551 中央消防署の移転に伴い、予防業務に必要な資機材を整備します。 [総振：10-1-3-01]</p> <p>2 火災予防対策の推進 2,516 火災の発生防止と火災による被害を軽減するため、防火訪問を実施し、住宅用火災警報器の設置を促進するとともに、適切な維持管理を推進します。 [総振：10-1-3-04]</p> <p>3 消防防災学習施設の充実 5,320 市民の防火防災意識の高揚を図るため、災害等の疑似体験を提供する消防防災学習施設の管理及び運営を行います。 [総振：10-1-3-05]</p> <p>4 火災予防の普及啓発 3,707 市民の火災予防に対する意識の高揚を図るため、積極的に広報し、火災予防思想を普及啓発します。</p> <p>5 火災調査業務 12,412 類似火災等の発生を防止するため、火災原因の究明に必要な資機材を整備し、究明した結果を火災予防に反映します。</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 予防規制等推進事業		予算額	6,858
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	予算書P. 175	17款 使用料及び手数料 6,858
<p><事業の目的・内容></p> <p>消防法及び関係法令に基づき、建築確認申請に伴う消防同意事務及び危険物施設・火薬類施設・高圧ガス施設に係る許可等の審査事務並びに防火対象物等への検査を行い、火災予防の徹底を図ります。</p>		前年度予算額	6,557
		増減	301
<p><主な事業></p> <p>1 火災予防対策の推進 129 事業者向けに講習会を開催し、火災予防の推進を図ります。 [総振：10-1-3-04]</p> <p>2 査察事務 2,559 事業所等に対し、消防法令の現行基準及び法令改正基準へ適合するよう指導を行います。</p> <p>3 消防同意・検査等事務 1,627 建築確認申請等の消防同意に必要な審査、消防用設備等の検査及び設置に関する指導並びに届出の受付処理を行います。</p> <p>4 危険物規制事務 1,562 危険物施設設置に係る許可等の審査及び完成検査並びに危険物施設に係る届出の処理を行います。</p> <p>5 火薬類・高圧ガス等規制事務 981 火薬類施設及び高圧ガス施設に係る許可等の審査及び検査を通じ、火薬類取締法令、高圧ガス保安法令及び液化石油ガス法令の基準に適合するよう指導します。</p>			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備運営事業		予算額	601
局/部/課	消防局/警防部/警防課	[財源内訳]	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	- 一般財源	601
<p><事業の目的・内容></p> <p>全国消防長会では、消防制度及び技術の総合的研究を行うため、7つの事業推進委員会が設置されています。</p> <p>本市は「技術委員会」委員長都市を担っており、消防機械器具・装備品・通信機器の研究開発及び改善並びに諸課題の解決に向けた審議等の対応を図り、全国消防の健全な発展に寄与しています。</p>		前年度予算額	863
		増減	△ 262
<p><主な事業></p> <p>1 消防装備等運営事業 601 [参考]</p> <p>全国消防長会技術委員会及び常任委員会を開催します。</p> <p>第99回技術委員会 令和3年5月中旬 (香川県仲多度郡琴平町) 常任委員会 令和3年10月下旬 (京都府京都市)</p>			
		 <p>全国消防長会技術委員会</p>	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 災害対策事業		予算額	1,000
局/部/課	消防局/警防部/警防課	[財源内訳]	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	18款 国庫支出金	1,000
<p><事業の目的・内容></p> <p>消防の広域応援体制として「緊急消防援助隊」が法制化され、本市では現在58隊を登録していることから、当該部隊が常時出動要請に即応できる態勢を整備します。</p>		前年度予算額	1,000
		増減	0
<p><主な事業></p> <p>1 災害対策事業 1,000 [参考]</p> <p>部隊が応援先に出動するための移動に係る経費並びに出動部隊が応援活動に必要な燃料、食糧及び消耗品を確保します。</p>			
		 <p>平成29年3月栃木県那須町雪崩事故に出動した緊急消防援助隊の活動状況 (栃木県那須町)</p>	
		 <p>平成27年9月関東・東北豪雨災害に出動した緊急消防援助隊の活動状況 (茨城県常総市)</p>	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 警防業務推進事業		予算額	79,383
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	19款 県支出金	2,808
<事業の目的・内容> 大規模化、複雑多様化する災害に対処的確な対応を行うため、消防部隊に対する教育訓練の実施及び消防活動用資機材の整備を行い、警防体制の強化を図ります。		- 一般財源	76,575
		前年度予算額	118,634
<特記事項> 小型動力消防ポンプの配備が完了しました。		増減	△ 39,251
		<主な事業>	
1 消防力等の体制強化	5,160	[参考]	
岩槻消防署及び移転先の中央消防署に必要な資機材等を整備を行います。			NBC災害総合連携訓練（埼玉スタジアム2002）
[総振：10-1-3-01]			
2 警防業務推進事業	66,831		消防部隊活動訓練
隊員の育成、部隊活動能力の強化を図るため、各種研修及び訓練を実施します。			救助・はしご隊活動訓練
効果的な消防活動を行うため、消防活動用資機材の整備及び点検を行います。			
3 東京2020大会消防特別警戒実施事業	7,392		
東京2020大会の本市開催に伴い、消防特別警戒の実施に必要な情報共有資機材等の整備を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急業務推進事業		予算額	45,627
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	24款 諸収入	6,331
<事業の目的・内容> 市民からの救急要請に対応するために、救急活動に必要な資器材を配備します。また、救急業務を安定的に継続していくために、救急需要対策を推進します。		- 一般財源	39,296
		前年度予算額	47,904
<主な事業>		増減	△ 2,277
		1 消防力等の体制強化	636
岩槻消防署及び移転先の中央消防署の救急活動に必要な資器材等の整備を行います。		安全・確実な救急活動を行うため、救急活動用の資器材の整備及び点検を行います。増加する救急要請に対応するための対策に取り組みます。	
[総振：10-1-3-01]			
2 東京2020大会消防特別警戒実施事業	1,292		
東京2020大会の本市開催に伴い、消防特別警戒の実施に必要な救急資器材の整備を行います。			
3 円滑な救急活動の推進	1,306		
老人福祉施設や高齢者宅等の救急現場において、傷病者の情報を迅速に把握し、医療機関へ速やかに搬送するための調査・広報を行います。			
[総振：10-1-3-07]			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 救急高度化推進事業		予算額	25,001
局/部/課	消防局/警防部/救急課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	24款 諸収入	50
		- 一般財源	24,951
<事業の目的・内容> 市民等の救急要請に際し、高度な救急サービスを提供するために、救急救命士をはじめとする救急隊員に対し、研修等の教育を行うことにより、病院前救護体制の強化を図ります。 また、市民に対する応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。		前年度予算額	26,726
		増減	△ 1,725
		<主な事業>	
1 消防力等の体制強化	2,609	4 AED等の維持管理	5,950
中央消防署の移転に伴い、救急隊員が実施する救命処置の技術の維持・向上を目的に使用する訓練用資器材の整備を行います。 [総振：10-1-3-01]		消防庁舎及び消防車両に配備しているAED等の維持管理を行います。	
2 応急手当の普及啓発	4,516		
市民が行うAEDなどを用いた応急手当実施率の向上を図るため、応急手当の指導及び応急手当の指導者の育成を行い、必要な訓練用資器材の整備を行います。 [総振：10-1-3-06]			
3 病院前救護体制の強化	11,926		
救急医療機関との連携を図るとともに、救急救命士をはじめとする救急隊員に対し、知識や技術の維持・向上のための教育を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 指令業務推進事業		予算額	842,012
局/部/課	消防局/警防部/指令課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/1目 常備消防費	17款 使用料及び手数料	342
		- 一般財源	841,670
<事業の目的・内容> 消防緊急情報システム及び消防施設に係る通信の維持管理を行い、万全な通信体制を維持します。 また、電波法に基づき無線設備等の適正な維持管理及び運用を実施します。		前年度予算額	840,079
		増減	1,933
		<主な事業>	
1 消防力等の体制強化	52,346	4 通信体制の維持管理	663,240
中央消防署の移転に伴い、通信機器等の移設を行います。 [総振：10-1-3-01]		消防緊急情報システム等に係る運用の管理を行い、万全な通信体制を維持し、市民の安全・安心を確保します。	
2 東京2020大会消防特別警戒実施事業	88	5 無線設備等の維持管理	119,342
東京2020大会の本市開催に伴い、外国人(外国語話者)からの119番通報等に係る通訳業務の言語数の拡大を行います。		災害時において、円滑な消防救急活動を実現するため、指令センターから操作する無線設備及び消防・救急隊員が使用する無線機の適正な維持管理を行います。	
3 署活動用無線機整備事業	6,996		
活動現場での指揮命令の伝達や、隊員間での情報共有に必要な不可欠な署活動用無線機の更新を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防団運営事業		予算額	240,395
局/部/課	消防局/総務部/消防団活躍推進室	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/2目 非常備消防費	24款 諸収入	36,346
	予算書P. 177	- 一般財源	204,049
<事業の目的・内容> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために報酬等の支給や活動環境の整備、消防団員確保対策等の各種事業を行い、消防団の充実強化を図ります。 また、自警消防団の運営を支援するため助成金を交付します。		前年度予算額	250,652
		増減	△ 10,257
		<主な事業>	
1 消防団の充実強化	137,929	4 消防出初式の開催	4,007
消防団充実強化計画に基づき、消防団員の確保対策、活動環境の整備及び活動能力向上のために必要な事業を行います。 [総振：10-1-3-02]		消防行政に対する理解と信頼を深めることを目的に、消防職・団員の士気高揚を図り、本市の消防力を広く市民に披露する消防出初式を開催します。	
2 消防団組織運営の維持	96,909		
消防団の円滑な運営及び活動環境維持のため、運営費の交付や公務災害補償に関する事務、退職報償金の支給、消防団員研修等の管理事務を行い、消防団組織を適正に運営します。			
3 自警消防団への助成	1,550		
市内に組織された自警消防団の運営に必要な助成金を交付します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等維持管理事業		予算額	415,967
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	17款 使用料及び手数料	139
	予算書P. 177	20款 財産収入	38,366
<事業の目的・内容> 消防庁舎、消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等の遵守、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことで事故を抑制し、職場環境の安全性及び衛生性の向上を図ります。		22款 繰入金	8,970
		24款 諸収入	1,064
		25款 市債	26,400
		- 一般財源	341,028
		前年度予算額	380,998
		増減	34,969
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化	10,561	4 施設修繕	51,000
岩槻消防署及び移転先の中央消防署において消防施設の維持管理及び保守管理を行います。 [総振：10-1-3-01]		災害対応及び防災の拠点施設となる消防庁舎の機能を維持するために必要となる維持管理修繕を行います。	
2 消防施設の維持管理	186,117	5 消防施設の予防保全	39,561
施設の維持に必要な消耗品の調達、光熱水費等の管理、敷地及び施設の維持管理を行います。		消防庁舎の中規模修繕工事に係る調査及び設計を行います。	
3 消防施設の保守管理・法定点検	128,728		
建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、清掃、施設等の保守管理及び法定点検を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防施設等整備事業		予算額	1,022,193
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	24款 諸収入	6,024
<事業の目的・内容> 消防体制の充実強化及び消防署所を計画的に整備するため、消防署所の建設工事、設計業務等を行います。 また、消防団の充実強化に係る事業を推進するため、消防分団車庫の建設工事、設計業務等を行います。		25款 市債	776,400
		- 一般財源	239,769
<特記事項> 中央消防署の移転に係る建設工事は、令和元年度からの継続事業であり、令和3年度中の工事期間が短いため、事業費が減少しました。		前年度予算額	1,836,595
		増減	△ 814,402
<主な事業>			
1 消防力等の体制強化	824,506	[参考]	
中央消防署の移転に係る建設工事等を行います。 (仮称)城南地区出張所の整備に係る既存建物解体工事等を行います。 中央消防署の解体工事に係る設計業務等を行います。 [総振：10-1-3-01]			
2 消防団の充実強化	129,229		
本町分団車庫及び慈恩寺第2分団車庫の建替工事等を行います。 和土分団車庫の整備に係る設計業務等を行います。 [総振：10-1-3-02]			
3 消防分団車庫の整備	68,458		
交差点改良事業に伴い、東部分団車庫の移転整備に係る工事等を行います。			

中央消防署完成イメージ図

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防水利整備事業		予算額	196,837
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	17款 使用料及び手数料	29
<事業の目的・内容> 消防水利の基準(消防庁告示)に基づき、耐震性防火水そう及び消火栓の設置を行うとともに、消防水利が常時使用できるように維持管理を行います。 また、老朽化した防火水そうの長寿命化を行います。		18款 国庫支出金	6,888
		25款 市債	108,300
		- 一般財源	81,620
		前年度予算額	196,754
		増減	83
<主な事業>			
1 消火栓の設置及び維持管理	57,397	4 黄線焼付標示修繕	2,200
消防水利が不足している地域に消火栓を整備します。 また、既存の消火栓は常時使用できるよう適正に維持管理を行います。		消防水利の位置を示す黄線を引き直す修繕を行います。	
2 防火水そうの維持管理	2,765	5 既存防火水そうの長寿命化	68,158
市内に設置されている防火水そうの修繕及び防火水そう用地の維持管理を行います。		老朽化した防火水そうの長寿命化に伴う設計業務及び工事を行います。	
3 耐震性防火水そうの整備等	66,317		
耐震性防火水そうの設置工事及び家屋事前調査を行います。 また、令和4年度に整備予定の耐震性防火水そう設計業務を行います。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等維持管理事業		予算額	159,491
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 177	- 一般財源 159,491
<事業の目的・内容> 各種災害に的確に対応するため、消防車両及び消防活動用資機材の維持管理を行います。		前年度予算額	173,704
		増減	△ 14,213
<主な事業> 1 消防力等の体制強化 321 [参考] 岩槻消防署に増隊した消防車両の燃料調達等を行います。 [総振：10-1-3-01]			
2 東京2020大会消防特別警戒実施事業 341 東京2020大会の本市開催に伴い、消防特別警戒に必要な車両の維持管理を行います。			
3 消防装備等維持管理事業 158,829 消防車両の法令点検及び修理並びに消防活動用資機材、リース契約車両等の維持管理を行います。		車両の点検状況	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 消防装備等整備事業		予算額	1,095,435
局/部/課	消防局/警防部/警防課	〔財源内訳〕	
款/項/目	9款 消防費/1項 消防費/3目 消防施設費	予算書P. 177	18款 国庫支出金 122,689
<事業の目的・内容> 消防力の充実強化を図るため、消防車両を計画的に配備します。		25款 市債 924,200	- 一般財源 48,546
<特記事項> 消防車両の更新台数が前年度と比較して増加します。		前年度予算額	702,881
		増減	392,554
<主な事業> 1 消防力等の体制強化 368 [参考] 中央消防署の移転に伴い、消防車両の整備資機材を更新します。 [総振：10-1-3-01]			
2 東京2020大会消防特別警戒実施事業 264 東京2020大会閉会后、消防特別警戒で使用した車両に設置されている車両運用端末装置を撤去します。		 	
3 車両整備事業 1,094,803 消防車両の老朽化に伴い、車両整備基準に基づき更新整備を行います。		消防車の整備状況 救急車の整備状況	